

対談

2年目職員×採用担当

採用担当

片山 夏実／文化スポーツ観光部スポーツ振興課

本間佑太郎／文化スポーツ観光部美術館運営課

早川優利亜／都市部まちなみ景観課

：採

：片

：本

：早

【入庁から1年と少し経ちましたが、職場には慣れましたか？】

早「慣れてきたと思います。自分の担当している業務は、一人でできるようになりました。」

採「もう課の中心メンバーかな？」

早「ではないです(笑) まだまだわからないことばかりです。」

片「私も慣れてきてはいますが、昨年度は感染症拡大の影響で中止のイベントが多かったので、今年度が1年目の気持ちはあります。」

本「僕の所属する課は、今年度から組織体制が変わったので、少し落ち着かないという印象ですね。」

【50人ほどの同期とは、仲良しですか？】

本「仲良しです！特に最初の集合研修で同じグループだったので、すぐに打ち解けました。」



本
間
佑
太
郎

普段は、職場が美術館なので、仕事で本庁舎に来たときは、何人かにちょっかい出しに行ってます(笑)」

片「今は大人数での飲み会などができるないこともあって、研修以外に全員で会う機会をもてないのが残念です・・・」

採「この状況が落ち着いて、早く皆で集まれるといいね。幹事は本間君でいいかな？」

本「お任せください(笑)」

【若手職員が活躍していると感じることはありますか？】

早「めちゃめちゃ感じます。担当者が自立しているというか。自分はまだあまりないですが、先輩が自



早川 優利亜



分で事業の企画とかをしているのを見て、憧れています。2年目になったので、もっと活躍できるよう頑張ります！」

本「僕はこの前、副市長も出席している会議に呼ばれて、直接意見を求められました。緊張したけど、必要とされているんだと感じました。」

片「ベテランも新規採用も関係ないってすごく感じています。仕事で関わった他課の方に「新人なのに、色々言ってすみません。」と言ったら、「同じ市の職員なんだから! そんなこと気にする必要ないよ!」と言ってもらえて、感動しちゃいました。」

採「任せもらえるということは、自分が積極的に意見を出さないと仕事が進まないという責任もあるよね。でも、今の横須賀市役所は、そこにや

りがいを感じられる人が増えてきているし、そんな人に受験してもらいたいと思っています。」

■ 上司・先輩はどんな人ですか？

早「皆さん、とにかく優しいです。困っている時はいつも助けてくれます。」

採「ほんと? いじわるされたりしてない?(笑)」

本「愛をもって厳しくしてくれる先輩などはいますが、いじわるな人は見たことないです(笑)」

片「親身になって相談にのってくれる先輩、上司が本当に多いなと感じています！」

■ やってみたい仕事はありますか？

片「市民の方と直接関わるので、窓口業務がやりたいです。今は協会、業者さんとのやり取りが多いので。」

本「人前で話す機会が多いところに行きたい。昨年経験してみて、自分を成長させることができたと強く感じました。」

早「私も人前で話すような仕事に、チャレンジしたいです！」

採「横須賀市役所には若い人の「やってみたい」を応援してくれる風土があります。これを利用しないのはもったいないし、自分もまだまだチャレンジ中。市役所はもっと変わっていきます。これからも積極的に発言したり、いろんなことに果敢に挑戦していきましょう！」

片山 夏実

